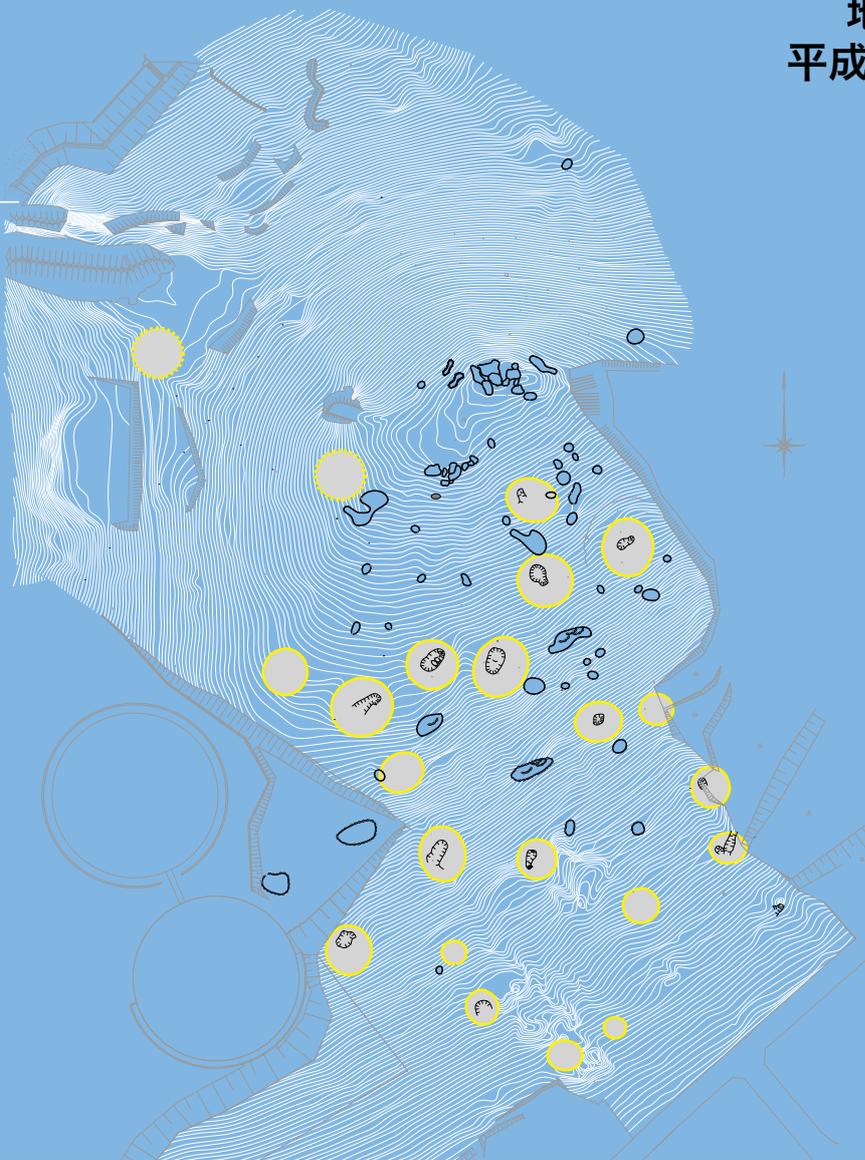


古墳名	所在地	遺跡概要
キジ山1号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径12.5m、高さ3m)
キジ山2号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径17.7m、高さ3m)
キジ山3号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山4号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径10.1m、高さ2m)
キジ山5号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径10.7m、高さ2m)
キジ山6号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山7号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山8号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山9号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径10.6m、高さ3m)
キジ山10号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山11号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径9.6m、高さ2m)
キジ山12号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山13号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径8.5m、高さ0.6m)
キジ山14号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径8.6m、高さ1.5m)
キジ山15号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径9.5m、高さ1.5m)
キジ山16号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径8.1m、高さ1m)
キジ山17号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径8.5m)
キジ山18号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径10m、高さ1m)
キジ山19号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山20号墳	豊橋市多米町字野中	円墳
キジ山21号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径15.6m)
キジ山22号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径9.9m、高さ1.5m)
キジ山23号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径14m、高さ1m)
キジ山24号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径9m、高さ1m)



西暦	古墳時代	特徴
西暦200年	前期	邪馬台国
西暦300年	中期	倭の五王
西暦400年	後期	飛鳥寺
西暦500年	終末期	平城京
西暦600年		
西暦700年		

豊橋市多米町

キジ山古墳群

調査:公益財団 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
支援:株式会社ユニオン

キジ山25号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径11m、高さ1m)
キジ山26号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径14m、高さ3m)
キジ山27号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径13m、高さ1m)
キジ山28号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径13m、高さ3m)
キジ山29号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径9.5m、高さ1m)
キジ山30号墳	豊橋市多米町字野中	円墳 (径13.2m、高さ1m)
キジ山31号墳	豊橋市多米町字堀川	円墳 (径13.4m、高さ2m)
キジ山32号墳	豊橋市多米町字堀川	円墳 (径10m、高さ2m)
キジ山33号墳	豊橋市多米町字堀川	円墳 (径10.3m、高さ1m)
キジ山34号墳	豊橋市多米町字堀川	円墳 (径9.8m、高さ0.5m)
キジ山35号墳	豊橋市多米町字堀川	円墳 (径14m、高さ3m)

西暦1800	屏風山晴雲寺創建
西暦1900年	明治維新
西暦2000年	第二次世界大戦



キジ山古墳群と多米町の古墳群



多米町は奈良時代（8世紀）には三河国八名郡多米郷があったところとされています。その北側の丘陵には多数の古墳時代後期（6～7世紀）の古墳が分布しています。これを群集墳といいます。この頃の古墳は、巨石を組んでつくった横穴式石室のある直径10～15mの円形をしています。

多米町にはキジ山古墳群の他、野中古墳群や坪尻古墳群、稲荷山古墳群などがありますが、いずれも古墳時代後期の群集墳と考えられています。赤岩寺の東に位置する稲荷山古墳群では平成19年度に発掘調査がおこなわれ、多数の鉄鍬（やじり）が出土しました。

キジ山古墳群の近辺には中世に鎌倉街道が通っていたと推定されています。また、赤岩寺付近には古くから集落となっていたようです（坪尻遺跡など）。

キジ山古墳群の発掘調査

キジ山古墳群は、これまでに1～35号墳が知られ、近年の新たに確認されたものも含めると40基以上の数にのぼるとみられます。

古墳の分布は特に南東側斜面で密集する傾向がうかがえますが、北西側斜面にもあります。

石室は南西～南～南東方向に入り口が開いています。この向きが時代性を示しているとの指摘もあります。

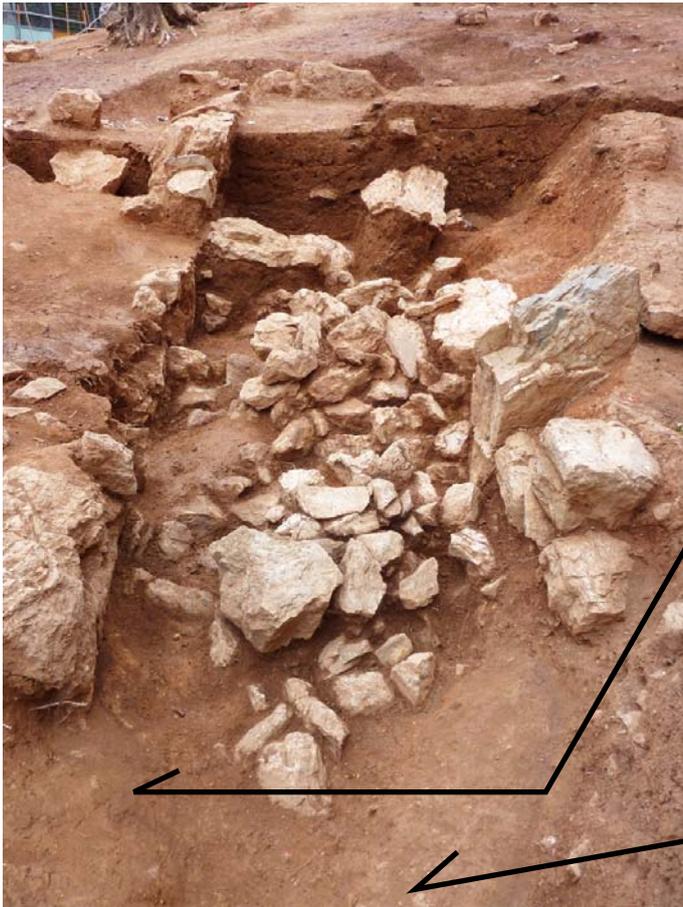


晴雲寺A区 後期古墳(082SZ)石室調査風景(北から)



キジ山B区 キジ山34号墳とその周溝(北から)

キジ山古墳群の石室と出土遺物



キジ山C区 後期古墳(018SZ)の石室(南から)



須恵器杯蓋と杯身



須恵器フラスコ瓶



キジ山A区 終末期古墳(001SZ)の石室(南から)

今年度の発掘調査では、新たに3基の後期～終末期の古墳(石室)を検出しました。

キジ山C区の後期古墳(018SZ)は、直線的な側壁のラインが特徴です。石室の入り口にあたる前庭部からは須恵器の杯・フラスコ瓶が出土しました。

キジ山A区では、終末期古墳(001SZ)の石室を検出しました。ひじょうに小さな石室で、全長は約1.7mしかありません。しかしそれでも奥壁や側壁の並べ方は基本的に横穴式石室の構造です。前方から奈良時代の須恵器が出土していることから、キジ山で最後につくられた古墳かもしれません。